



議会だより



新たな議会が  
スタートしました

正副議長・委員会構成決まる





# 議長に木内秀樹議員、副議長に若林良一議員を 選出し、委員会等新議会の構成が決定

11月1日、令和6年度南部町議会第3回臨時議会が開催されました。12名の議員定数を10名に削減してから実施された議会議員一般選挙後、初めての議会において、正副議長の選挙では指名推薦により、議長に木内秀樹議員、副議長に若林良一議員が当選しました。

このほかに、議会運営委員会、総務建設常任委員会、文教厚生常任委員会、広報公聴常任委員会の構成がそれぞれ決定し、新しい南部町議会が10名の議員によるオール南部でスタートしました。



議長 木内秀樹

平素より町政にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今回議員各位の全会一致のご推荐によりまして、議長の要職をあずかることとなり、身の引き締まる思いであります。

これからも議長の職務にあたりましては、公平で透明性のある議会運営に努めてまいりますとともに、今後の更なる発展に向けて全力を傾注してまいります。



副議長 若林良一

私は、選挙で皆様の温かいご支援をいただき、再び町政に携わる事が出来ました。誠に身の引き締まる思いであります。

また、議員各位の承認の下、副議長の要職を賜わり議長の補佐役とし

議員各位には、これまでと変わらずご協力をお願いを申し上げます。

さて今、町を取り巻く環境は大変厳しく、少子高齢化に伴う人口減少に歯止めをかけるための定住促進対策や福祉対策、防災対策など課題が山積しております。これらの解決策としては、住民の皆様とより多く接する機会を増やし、意見や要望をいかに議会として取り上げるかが重要であり、そのためにも新たにスタートした議会議員10名が一丸となって、町民の負託に応えられるよう頑張っております。

南部町の総合戦略は、森林整備と災害対策を基盤に、地域資源の有効活用を目指しています。特に竹林の整備と管理体制の構築を進め、地域特産品を活かした6次産業の振興を

て議会運営に努めて参る所存です。

近年、新型コロナウイルスの蔓延や自然災害・物価高騰など皆様の生活環境が変化しています。

町の人口減少・大規模自然災害の危惧・荒廃した田畑に出没する野生動物等、課題が山積しています。

自然豊かで皆様の誇れる南部町を作り上げるように行政・議会が丸となって、日々努力して行くことが必要であると考えます。

また、昨年議会基本条例が制定されました。開かれた議会を目指し、対話と議論を重ね政策に活かし町民

を通じて、経済活性化と雇用創出を図ります。これらの取り組みにより、地域の強靱性と持続可能な発展を促進してまいります。

また、中部横断自動車道の開通により、南部町はますます交通便利性が高まりました。この道は甲府や静岡などの主要都市へのアクセスを劇的に改善し、経済活動や観光振興にも大きく寄与しています。特に、近隣市町村との交流や広域経済圏の拡大が期待される中、私たちはこの機会を最大限に活かし、地域全体の発展を目指して取り組んでまいります。

結びにあたり、町長をはじめ執行部の皆様方におかれましては、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。任の挨拶とさせていただきます。

の皆様の生活に寄り添った議会運営と議会機能の充実を図り、皆様と議員との距離を身近に感じていただきたいと思います。

町のキャッチフレーズでもあります『水と緑が溢れるふれあい豊かなまち、南部町』を指針として、益々この町の良さを皆様と共に引きだしていきたいと思います。私自身、初心を忘れずに一生懸命頑張ります。

今後とも、町民の皆様のご支援ご指導をお願い申し上げます。副議長の挨拶とさせていただきます。

## 議会運営委員会

委員長 望月 光彦  
副委員長 若林 良一  
委員 芦澤 潤一郎  
委員 望月 小五郎  
委員 望月 憲之



委員長 望月 光彦

議長として、2年間皆様方のご協力を頂く中、大過なく任期を努めることができましたことに心より感謝申し上げます。

また今回、多くの皆様の温かいご支援を頂き、再び町政に携わる機会を頂きましたことに感謝すると共に、その責任の重さを痛感しているところであります。

我が町では少子高齢化に伴う人口減少、いつ発生してもおかしくない災害への対応など、課題が山積しています。

私のモットーであります、町民の声に耳を傾け、住み良い町作りを目指して、全力で取り組んでまいります。

す。どんなことでもお気軽にお声をかけてください。

## 総務建設常任委員会

委員長 芦澤 潤一郎  
副委員長 仲 亀 佳 定  
委員 若林 良一  
委員 望月 憲之



委員長 芦澤 潤一郎

私は、皆様の温かいご支援により、再び町政に携わる事ができ、身の引き締まる思いであります。町民の皆様の声を聴きそれを町の施策に活かし、住みよい町づくりに一生懸命取り組み決意であります。

先の臨時議会において総務建設常任委員長を拝命し、身に余る光栄です。町には、耕作放棄地の問題、道路等のインフラ整備、防災対策など多くの課題があります。また、高齢化に対応した介護等の福祉施策や人口減少社会への的確な対応も急がれます。私は、町民参画による町政・

行政・議会の改革を推し進めます。自己研鑽を重ね貴重な一票の思いを忘れず議員活動を全うしたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。



副委員長 仲 亀 佳 定

私は、皆様の温かいご支援により再び町政に関わることができ、身にあまる光栄です。

この4年間の任期の中で、空き家対策、子育て支援対策等に全身全霊を掛けて邁進してまいりますので、皆様には、更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 文教厚生常任委員会

委員長 望月 小五郎  
副委員長 塩 津 悟  
委員 望月 光彦  
委員 小 泉 昇 一  
委員 高 橋 茂 広



委員長 望月 小五郎

二期目の議員として、この場所にいられること、すべて町民の皆様のおかげです。

文教厚生常任委員会委員長を拝命し、町民の皆様の暮らし・福祉・医療・教育などに関しきめ細かく審査・調査を行い、町民の皆様の声をいただきながら率先して提言してまいります。

そして、常に町民の立場に立つて物事を考え、驕ることなく行動してまいります。

人口減少・少子高齢化は全国どこでも起こっています。一朝一夕に解決できることではありませんが、泣き言を言わず諦めない姿勢が大切だと思っています。

これからも町民の皆様の笑顔をエネルギーに、全力で頑張ります。







副委員長  
塩津 悟

町民の皆様のご支援により、ふたび町政に携われる機会を頂き、感謝申し上げます。

皆様の声を町政に反映すると共に、少子化対策・老人福祉対策・防災力強化、そして次世代を担う子供達の育成に取り組み、「夢ふくらむ豊かな町づくりを」モットーに頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



委員  
小泉 昇一

私の信条は、宮澤賢治が昭和6年11月病に伏し読んだ『雨ニモマケズ』です。

このことは、ネジ曲ることなくまっすぐに議員活動に活かしています。しかし、残念なことは、今回もまた男性だけの議会です。この間、ジェンダー平等の世界的

な潮流から女性の視点からの主張を求め、議会での奮闘を訴えてきましたが、実現しませんでした。4年後には挙手を期待しています。



委員  
高橋 茂広

私は、再び町政に関わるにあたり、少子高齢化・人口減少が進む今、積極的に町民の皆様との対話を重ね、全ての世帯が安心して暮らせるよう町民福祉の増進に取り組みます。

また、本町の「豊かな自然と伝統文化」を活かした地域活性化を進め、未来を担う子どもたちのために、持続可能な町づくりを全力で推進してまいります。

## 広報広聴常任委員会

委員長 望月 憲之  
副委員長 小泉 昇一  
委員 若林 良一  
委員 仲 亀 佳定  
委員 望月 小五郎  
委員 芦澤 潤一郎

(編集発行係)

委員長 望月 光彦  
委員 高橋 茂広  
委員 塩津 悟

(報告会企画係)



委員長  
望月 憲之

皆様の温かい御支援を受け、再び議員として町政に携わることができ、感謝するとともに、町民のために働く議員として、頑張っていかなければと身の引き締まる思いであります。

皆様の声を聞き、町政に届けることを基本とし、人口減少・福祉・教育・子育て支援・医療環境整備・災害等対応・森林整備・鳥獣害対策・福土川溪谷整備等、山積している町の課題へ積極的に取り組みます。

また、広報広聴委員が力を合わせ、町民の皆様が手にとって、読んでいただける「議会だより」発行と、開かれた議会を目指していきたいと存じます。

## 峡南広域行政組合議会議員

高橋 茂広  
望月 小五郎

山梨県後期高齢者医療  
広域連合議会議員

望月 憲之

峡南衛生組合議会議員

望月 光彦  
塩津 悟

山梨西部広域環境組合議会議員

仲 亀 佳定

議選監査委員

小泉 昇一

## 編集後記

いつまでも続くと思われた暑さから、朝夕の寒さが感じられ、冬も間近です。議会だよりは議会広報広聴常任委員会委員6名が編集を行い、年に4回の定例会後に発行しています。今回は臨時号として新議会の構成と議員各自の挨拶を掲載しています。

町民の皆様から「議会だより見たよ」と声をかけていただけたような広報づくりを心がけていきたいと思っています。身近に掲載していただきたい場所や風景、活動がありましたらご連絡下さい。今期の委員は次の通りです。

(広報広聴常任委員会・編集発行係)

委員長 望月 憲之  
副委員長 若林 良一  
委員 望月 小五郎  
委員 仲 亀 佳定  
委員 望月 小五郎  
委員 芦澤 潤一郎